

西濃事務研究会報

平成25年 1月17日

平成24年11月28日、海津市文化センターにて研修会を行いました。

会長挨拶 大垣市立西中学校 中川恵子

東海地区公立小中学校事務研究大会から一週間も経たないうちの西濃地区事務研の開催となった。東海大会では「東日本大震災と学校事務職員」という演題で、村上誠二様の講演を聞いた。被災したとき、校長先生の指示で、教員は生徒のところへ、事務職員は避難してくる人々の対応のため校長先生と掲示板を設置したこと、教員には1日何をしたか記録をするように、また自宅の写真を記録するように指示したことなど、その当時の様子が伝わってくる話だった。

学校では年に数回、時間帯や状況を変えて避難訓練を実施しているが、事務職員の役割や、訓練時にはどのように動いているか。放送が使えないことを想定して、ハンドマイクを持って決められた場所へ行き、呼びかけをした、職員室に鍵をかけて生徒名簿を本部へ届けた、今まで私が勤務した学校で経験したことである。また、防災計画に非常持ち出し担当となっていたが、何をもち出せばよいのか明示されていなく、何の根拠もなく、実際に起こらないだろうと確認もしないまま現在に至っている。想定外がありえるということを何度も言われている中、こういったことを確認することも大事なことではないかと思う。

来賓ご挨拶

海津市 市長 松永 清彦 様



平素は各市町の教育目標に向かってご尽力いただき、敬意と感謝を申し上げます。

教員は教育に力点を置いており、学校運営を基礎から支えているのは学校事務職員の皆様方だ。子どもがすくすく育つために、自らもモチベーションを高めて研修に臨んでほしい。

海津市の教育長になりかわり、海津市の教育について代弁すると、海津市教育研究所設立後、中学校では一週間連続で職場研修を実施している。

神戸連続児童殺傷事件後、社会が子どもたちを育て、子どもたちが社会から学ぶようになった。子どもたちのためにも、社会が今の中学校の様子を知る視点からも、一週間連続の職場研修実施はとてもよいと考えている。

また、岐阜県の特別支援学校が旧海津北高校跡にできたが、開校当初、一般の公立学校に設置している学童制度がなかった。そのため、NPO法人「まごの手クラブ」が大垣特別支援学校で研修を受け、障害者のための学童保育を行っている。これが海津市の教育の特色ある2つの施策である。

本日の大会が実りある研修となることをご祈念する。

西濃教育事務所 所長 和田 満 様

日頃から西濃教育事務所、各市町、組合、市町教育委員会との緻密な連携を図っていただいていること、校長の経営方針に基づいて、学校運営の一翼を担ってくださっていることに厚く御礼申し上げます。また先ほどの会長の挨拶の中にもあったが、今年度、岐阜県全体で、防災教育の充実、いじめの未然防止、教職員の不祥事根絶に向けて取り組みを進めているところであるが、この点についても各校で十分にお力添えをいただいていることに感謝申し上げます。

前回、6月の研修会において、学校事務職員に期待されることとして大きく3点、子どものためにいる

教職員として、学校にいる唯一の行政職員として、学校の危機管理を担う職員として期待されることとして話をさせていただいた。時代の折々に、学校教育の充実のため取り組んでこられた先輩方の思いをつなぐことも大切にしていきたい。

今年度の学校訪問の中で、学校事務職員への期待に応えていただいている取り組みを数多く見る事ができた。適切な財務管理に対する取り組みは言うまでもないが、学校行事の目的、意義を理解、把握して自分ができることを支援していく、事務職員の専門性を生かしつつ自分らしく積極的に学校運営に関わり子どもの豊かな成長に関わる、地域に信頼される学校づくりに努める、などこれらの課題を自分の課題に置き換えて勤務していること、また保護者向け、教職員向けの事務だよりを発行する、生徒の情報を収集して担任に伝えるなど具体的な行動に努めていることも初めて知った。学校に対する貢献をしたい、子ども達の成長に役立ちたい、そんな思いのにじんだ取り組みに深く感銘を受けた。先日、関市で開催された第44回東海地区公立小中学校事務研究大会の研究紀要を見させていただいたが、その中にも、西濃地区の皆さんの取り組みの一例として海津市立東江小学校の取り組みが紹介されていた。



本日の研修会では不破郡の皆さんの地道な取り組みの発表、喫緊の課題であるメンタルヘルスの講演があると伺っている。皆さんの向上心に敬意を表する。研修を通して、西濃地区の事務職員同士のつながりが深まるように、また成果を各校において十分に生かしていただき、子ども達の豊かな育ちにつないでいただくことを祈念する。

西濃地区小中校長会 会長 栗田 京 様



60歳になると研修というと半分程度は「何をいまさら」という思いと「人間として勉強せねばならない」という思いとが半々な状況である。

皆さんはそのようには思っていないと思うが、学校職員であれば『気配りと協調』ができないとダメだと思う。今まで勤務してきた職場では年度初めに職員に必ずそれを伝えていた。「自分の仕事をやっても、他の人が大変なときに手伝えないのはダメだ」と。今まで私が出会った学校事務職員は実際、他の人が大変な時に手伝う方であったが、他の現場ではそうでない声も聞こえている。

学校現場ではない所属へ異動した際、事務系の職員の声で「自分の仕事はきちりやる。が、それ以外のことはしない」という声が聞こえ、自分に仕事が回ってこないようにという気配りはするという姿が見られた。それを見たときこんな職場にいてはダメだと思った。

校長が何かをやるうと言い出したら、事務職員の皆さんも頑張っていたきたい。皆の力をお借りしたい。若い先生は会計処理に弱い。教えないと『起案』という言葉も知らない。

皆さんへお話しするのは最後だと思う。人間として成長するように頑張ってください。

研究発表 不破郡事務職員会

地域の特色を生かした研究・実践

「不破の教育」を支える学校事務職員を目指して

不破郡事務職員会より配信済み

指導・講評 西濃教育事務所 課長補佐 林田 力 様

児童生徒数が少なくなりつつあり、県下全体で2000人規模、西濃では360人規模で少なくなっています。単純に中規模の学校が一つずつなくなっているような状況で、このような状況下では、先生達、養護教諭、事務職員の数が減っていくことにつながり、見通しとしては非常に厳しくなっている。

皆さんと思いは同じだが、二人配置のところが減らされたり、小規模の学校から離されていくことが考えられる状況であることを、この機会にお伝えする。

今年度、海津市で大きな不祥事があった。該当校は本当に苦しい状況、海津市内の学校、西濃管内、県内の学校、全てが苦しいということで、様々なコンプライアンスチェックや不祥事根絶に向けて取り組みをしていただいている。一人の不祥事が大きなダメージ、影響を残すことを肝に銘じたい。

不破郡事務職員会の実践は、学校に勤めるものとして、教員、事務職員関係なく、子どもの育ちのために尽力するという意味において、的を射たものであり、皆さんのとっても非常に参考になるものだったと思う。

困り感を持った子どもへ事務職員としてどう関わるかということに対して、専門のスクールアドバイザーを講師に招いて研修を行ったと聞いている。教室を抜け出す子への対応については、見守り方、声のかけ方、担任への連絡の仕方、など職員室のキーパーソンとして校内体制の一角を担うことは、学校経営への主体的な参画の重要な一例である。教員の後ろにつくのではなく、横並びで子どもの育成に関わっていただけるとは、本当にありがたいことである。

就学援助事務に関わって、法的根拠を明らかにし、町の内規にも目を向けて、より深い解釈を共同体制で行っていることは、ベテラン層と若手層の融和、知識、経験の引き継ぎが確実に行われることにつながると思う。

事務日より「ふわっとタイム」について、平成11年度より継続されている実践であり、今年度の最新のものにも目を通させていただいたが、しっかりとバージョンアップがなされており、分かりやすくタイムリーな情報が掲載されていた。教員が知らない情報を知るために、実際に役に立っている実践だと思う。

全ての判断の基準は児童生徒の役に立つかどうかということなのです。最終的に子どもたちの役に立つことならば、それはやらなければならない。直接的であれ、間接的であれ、最終的に子どもたちの役に立つことであれば、使命感も湧き、実践に結びつけることができる。今回の不破郡の実践はいずれも子どもたちの役に立つことばかり。今後も未来を切り開く子どもたちの役に立つ実践を進めていただきたい。



諸連絡

県事研理事

- ・東海地区公立小中学校事務研究大会は、1000名を超える参加で盛会に終わることができた。次年度は、三重県伊賀市にて11月7, 8日に開催。揖斐郡が分科会で発表する。是非ご参加を。
- ・事務の日セミナー、県内各都市より参加していただいた。共同実施体制について前向きな意見を多数いただいた。今後、更に検討していきたい。報告はおんさいやHPに掲載する。参加者にも話を聞いて交流して欲しい。
- ・全事研セミナーが2月22開催される。参加申し込みは各都市代表へ。

県総務部

- ・次年度事務日誌作成中。追加申し込みは江並中 水谷さんまで。2月末頃発送予定。
- ・県のHP・会誌に都市の研究の成果を紹介してくださる都市は連絡を。

県研究部

- ・県事研評価について、ご協力に感謝。西濃の回収率は95.5%。年度末に結果を配信できるように集計作業を進めている。

県研修部

- ・本日の資料内に今年度活動報告掲載。おんさい125号に研修成果を掲載。

- ・今年度末にも研修部がおすすめる次年度研修講座一覧をメールにて送付予定。

実践発表 「事務部経営案について」

川並小学校 澤藤かよ子さん
城山小学校 大倉 麻耶さん

実務指導

西濃地区事務職員研究会 研修指導委員会

- ・今年度の取組について 若年層研修・事務ネットの質問・教育事務所への確認など
- ・文書管理と事務引継簿について 文書分類・保存期限・情報管理・起案・廃棄・アンケート結果等

講演 「働く人のメンタルヘルスケア」

大垣市保健センター 河合美知恵 様



普段は、小さい子どもやお年寄りに話をすることが多く、今後は、仕事をしている世代への働きかけをしていきたいと思っているところで講演の機会をいただき、感謝している。

自分の心の点数を自己採点する。100点満点で、60点が及第点となる。60点以下の人は結構ストレスがたまっているのではないかと思う。

ストレスの原因としては、暑さ寒さ、騒音などの外から受ける刺激がある。最も大きいのは人間関係などの社会的・心理的なものである。目標もストレスの一つ。達成可能な目標ならば、頑張るぞ！

という善玉ストレスとなり達成感や充実感などを得ることができるが、どうやっても達成不能な目標ならば大きなストレスとなる。

ストレスを回避するメカニズムとして以下の3つがある。

- ・欲求不満耐性...心が丸いボールならば、正面から受け止めてはね返そうとする力

例：帰りがけに仕事を頼まれた場合

頑張って片付けて帰る。自分で頑張って何とかする。

- ・自我防御機制...ストレスを受け止める余裕がなくなったとき、心の形を変えて受け止めること

例：帰りがけに仕事を頼まれた場合

仕事を分割して頼みやすい人をお願いする。頼んだ人が明日、お休みなら、明日頑張る、明後日提出する。色々な方法でストレスに対応する。

- ・カタルシス.....心に小さい穴を空けて、たまったストレスを発散させること

例：やけ酒、やけ食い、愚痴を言う。同じ立場の者同士、愚痴を言い合う。発散させて元の丸い形に心が戻ったら穴をふさぐ。

うつ病には3つのサインがあらわれる。一つ目は身体面でのサイン。検査しても異常がない身体症状(心気症)や、円形脱毛症など疾患や症状が出現するもの(心身症)などである。二つ目は行動面でのサイン。遅刻や早退、集中力の低下、アルコール依存やギャンブルなどである。最終的には精神面でのサインとしてあらわれる。暗く陰気になったり、無気力、無感情、ヒステリックになるなどの情緒不安定、精神障害などである。そうなる前に、3つのR、Rest(休養)、Recreation(娯楽的な楽しみ)、Relaxでストレス解消をする。

人間は脳が発達していて、想像することが得意な生き物である。手のひらに梅干しが乗っている。それをかじるイメージを持つと、酸っぱい物としていられるため唾液が出てくる。イメージしたことで体が反応する。脳が働くことで体は動く。しかし人間には脳の動きとは別で、自分の意志とは関係なく動くもの、心臓の動きや胃や腸を動かす自律神経がある。交感神経と副交感神経の二つからなり、活動してい

るときは交感神経が、リラックスしているときは副交感神経が働く。自律神経の中で、呼吸のみ自分の意志でコントロールすることができる。呼吸を使ったリラクゼーション方法として次のような呼吸がある。『手は膝の上におき、椅子になるべく深く腰掛け、背もたれに上半身を預ける。なるべく鼻から息を吸ってゆっくりと吐く。吸った空気がどこに入っているか、どのように出ていくか、手足の力が抜けているか、目をつむって体に触れている部分など意識をしてみる。』このように呼吸を行うことで副交感神経優位にしていく。

心の5S活動をする。職場の効率アップを図る行動指針である5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）と同じように、人間関係、仕事について考えていく。

コミュニケーション能力を高める。自分の気持ちは表現しなければ伝わらない。また相手に伝わるように意識して話をする。相手が自分の意見をどのように受け取るかは相手次第である。自分としては客観的な意見として話したことが、相手を傷つけることもある。細かい配慮が必要になる。心の扉を開くキーワードはあいさつと笑顔である。「ありがとうございます」「お疲れ様」など、こういった言葉をさりげなく伝えると良いと思う。

研修 「財務に関する交流型研修」

西濃地区事務職員研究会 研究推進委員会

施設・設備に関する事務

物品に関する事務

学校予算に関する事務

学校徴収金に関する事務

以上、4つのテーマで、17のグループを作り、助言する側、助言を受ける側の二つの立場に分かれて交流した。